別紙様式５号（第７の３及び第８の３関係）

２　先進的農業経営確立支援タイプ・地域担い手育成支援タイプ

Ⅰ　融資主体型（地域担い手育成支援タイプ）

No	市町村名	地区名	事業実施主体（市町村又は都道府県名）	事業内容 Ⅰ-1 融資主体補助型（先進的農業経営確立支援タイプ） Ⅰ-2 融資主体補助型（地域担い手育成支援タイプ） Ⅲ 被災農業者支援型	地区毎の助成対象者の整理番号	助成対象者名（合計は経営体数）	地区の成果目標																					経営体別の成果目標												
							1年度目の達成状況（評価報告）	①付加価値額の拡大			②経営面積の拡大			③農産物の価値向上			④単位面積当たり収量の増加			⑤経営コストの縮減			⑥農業経営の複合化			⑦農業経営の法人化			必須目標（付加価値額の拡大）（被災農業者の農業経営の維持）												
								計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	コード	現状年度	現状値	1年度目 計画	1年度目 実績	2年度目 計画	2年度目 実績	3年度目 計画	3年度目 実績	単位	1年度目達成状況（%）	実績を確認した資料等名	補正の内容
1	蓬田村	長科	蓬田村	融資主体補助型（先進的農業経営確立支援タイプ）	1	＊＊＊		1	0	0	1	0	0																Ⅰ①	2	18,732,616	19,600,000	14,688,178	20,500,000		21,550,000		円	-466.27	所得税青色申告決算書	
地区計								1	0	0	1	0	0																												
地区計																																									
合　計								1	0	0	1	0	0																												

（注）
1 「市町村名」の欄については、都道府県が事業実施主体となる場合においては、関係する市町村の全てを記載すること。
2 被災農業者支援型の場合、「地区名」の欄については、記載を要しない。
3 「農業地域類型」の欄については、複数の類型が該当する場合、該当するすべての地域類型を記載すること。
4 「事業内容」の欄の記載に当たっては、Ⅰ－1、Ⅰ－2及び Ⅲ の別を記載すること。
5 「地区の成果目標」の欄については、「経営体別の成果目標」欄から、要綱第7に基づく点検又は第8に基づく点検評価を行った年度の「計画」及び「実績」値を記載した経営体数を各成果目標ごとに記載すること。
6 各欄における「コード」及び「区分」の欄の記載に当たっては、（2）の先進的農業経営確立支援タイプ及び地域担い手育成支援タイプ整理番号表（以下「整理番号表」という。）に基づき番号を記載すること。
7 「経営体別の成果目標」の欄の「計画」欄については、別紙様式１号の2の（2）のⅠの「成果目標の設定状況」欄の必須目標及び選択目標の１年度目、２年度目、３年度目の設定値及び単位を記載すること。
8 同欄の「実績」欄については、計画値に対する当該年度の実績値を記載すること。
9 同欄の「〇年度目達成状況（%）」の欄については、（実績-現状）/（年度計画-現状）×100により求めるものとする。（小数点第2位は切り捨て、小数点第1位まで記載。）
10 同欄の「補正の内容」の欄については、天災その他の外的要因の詳細及び補正の方法（実績値の補正過程）を記載すること。
11 「導入した施設等情報」の欄については、助成対象者ごとに、導入した1施設等ごとに記載すること。
12 ※印のある欄については、被災農業者支援型の場合のみ記載する欄のため、融資主体補助型のみの場合は欄の省略を行うこと。
13 「保険等加入情報」の欄については、本要綱第7及び第8に基づき報告を行う際、毎年度、加入が継続されているかを事業実施主体に確認を行った上で記載すること。
14 「評価所見」の欄については、本要綱第7に基づく点検又は第8に基づく点検評価の結果に基づき記載するものとし、事業実施主体からも所見を求め記載すること。
また、達成に立ち遅れがある場合については、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取組内容を記載すること。
なお、目標が達成されていない場合（必須目標が達成されていない場及び事業関連取組目標がおおむね達成されていない場合）は、別途、事業実施主体に別紙様式6号の2により提出を求め、具体的な改善措置及び達成見込時期等を記載すること。
15 事業実施年度の必須目標及び目標年度の前年度の必須目標の達成状況がいずれも80%未満である助成対象者並びに目標年度の必須目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導の内容を記入すること。

選択目標1												選択目標2												導入した施設等情報				経費情報								保険等加入情報			評価所見		備考
コード	現状年度	現状値	1年度目		2年度目		3年度目		単位	1年度目達成状況（%）	実績を確認した資料等名	補正の内容	コード	現状年度	現状値	1年度目		2年度目		3年度目		単位	○年度目達成状況（%）	実績を確認した資料等名	補正の内容	整備内容		助成対象者毎の整備内容の整理番号	機械等名称及び能力・規模等 ※○台、馬力・○条刈り、○棟○m²等	事業費（円）	※ 国庫補助金額算定となる事業費（円）	対象経営体負担額			都道府県費（円）	市町村費（円）	その他（円）	芸設施設共済引対象施設の有無（該当は「1」を記入）	保険加入年月	保険会社等の名称	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績								計画	実績	計画	実績	計画	実績					整理番号	区分					国費（円）	融資額（円）	自己資金（円）									
1②	2	45	46	43	48		49		ha	93.69	営農計画書															2	コンバイン	1	コンバイン１３０馬力６条刈１台	12,760,000	12,760,000	3,000,000	9,760,000								付加価値額の拡大については、新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用米を中心に需要が大幅に減少し、米価が下落したため、収入が大きく減少し目標を達成することができなかった。 経営面積については、農地貸借で悪条件のほ場を解約したことにより、減少してしまったため目標達成はできなかった。		

別紙様式５号（第７の３及び第８の３関係）

２　先進的農業経営確立支援タイプ・地域担い手育成支援タイプ

Ⅰ　融資主体型（地域担い手育成支援タイプ）

No	市町村名	地区名	農業地域類型	事業実施主体（市町村又は都道府県名）	事業内容 Ⅰ-1 融資主体補助型（先進的農業経営確立支援タイプ） Ⅰ-2 融資主体補助型（地域担い手育成支援タイプ） ※ 被災農業者支援型	地区毎の助成対象者の整理番号	助成対象者名（合計は経営体数）	地区の成果目標																					必須目標（付加価値額の拡大）（被災農業者の農業経営の維持）								
								3年度目の達成状況（評価報告）	①付加価値額の拡大			②経営面積の拡大			③農産物の価値向上			④単位面積当たり収量の増加			⑤経営コストの縮減			⑥農業経営の複合化			⑦農業経営の法人化			コード	現状年度	現状値	１年度目		２年度目		３年度目	
									計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）	計画	実績	達成状況（%）				計画	実績	計画	実績	計画	実績
1	蓬田村	阿弥陀川地区	中間農業地域	蓬田村	Ⅰ-2	1	＊＊＊	必須目標0% 事業関連取組目標50%	1	0	0										1	1	100				1	0	0	Ⅰ①	30	4,014,164	4,300,000	3,679,454	4,500,000	2,440,448	5,000,000	4,318,891
地区計								50	1	0	0										1	1	100				1	0	0									
地区計																																						
合　計								50	1	0	0										1	1	100				1	0	0									

（注）

1 「市町村名」の欄については、都道府県が事業実施主体となる場合においては、関係する市町村の全てを記載すること。
2 被災農業者支援型の場合、「地区名」の欄については、記載を要しない。
3 「事業内容」の欄の記載に当たっては、Ⅰ－1、Ⅰ－2及びⅢの別を記載すること。
4 「地区の成果目標」の欄については、「経営体別の成果目標」欄から、要綱第7に基づく点検又は第8に基づく点検評価を行った年度の「計画」及び「実績」値を記載した経営体数を各成果目標ごとに記載すること。
5 各欄における「コード」及び「区分」の欄の記載に当たっては、(2)の先進的農業経営確立支援タイプ及び地域担い手育成支援タイプ整理番号表（以下「整理番号表」という。）に基づき番号を記載すること。
6 「経営体別の成果目標」の欄の「計画」欄については、別紙様式1号の2の(2)のⅠの「成果目標の設定状況」欄の必須目標及び選択目標の1年度目、2年度目、3年度目の設定値及び単位を記載すること。
7 同欄の「実績」欄については、計画値に対する当該年度の実績値を記載すること。
8 同欄の「〇年度目達成状況(%)」の欄については、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数点第2位は切り捨て、小数点第1位まで記載。)
9 同欄の「補正の内容」の欄については、天災その他の外的要因の詳細及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載すること。
10 「導入した施設等情報」の欄については、助成対象者ごとに、導入した1施設等ごとに記載すること。
11 ※印のある欄については、被災農業者支援型の場合のみ記載する欄のため、融資主体補助型のみの場合は欄の省略を行うこと。
12 「保険等加入情報」の欄については、本要綱第7及び第8に基づき報告を行う際、毎年度、加入が継続されているかを事業実施主体に確認を行った上で記載すること。
13 「評価所見」の欄については、本要綱第7に基づく点検又は第8に基づく点検評価の結果に基づき記載するものとし、事業実施主体からも所見を求め記載すること。
　また、達成に立ち遅れがある場合については、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取組内容を記載すること。
　なお、目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場及び事業関連取組目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、事業実施主体に別紙様式6号の2により提出を求め、具体的な改善措置及び達成見込時期等を記載すること。

経営体別の成果目標

				選択目標１													選択目標２													
単位	３年度目達成状況（%）	実績を確認した資料等名	補正の内容	コード	現状年度	現状値	１年度目		２年度目		３年度目		単位	３年度目達成状況（%）	実績を確認した資料等名	補正の内容	コード	現状年度	現状値	１年度目		２年度目		３年度目		単位	○年度目達成状況（%）	実績を確認した資料等名	補正の内容
							計画	実績	計画	実績	計画	実績								計画	実績	計画	実績	計画	実績				
円	30.9	所得税青色申告決算書		Ⅰ⑤	30	8,640,283	8,600,000	7,959,672	8,550,000		8,500,000		円	１年度目で達成済	所得税青色申告決算書		１⑦	30	個人	個人	個人	個人	個人	法人	個人	法人	－		

導入した施設等情報				経費情報								保険等加入情報			評価所見		備考
整備内容		助成対象者毎の整備内容の整理番号	機械等名称及び能力・規模等 ※○台、馬力・○条刈り、○棟○㎡等	事業費 (円)	※ 国庫補助金額算定の基礎となる事業費 (円)		対象経営体負担額					園芸施設共済の引受対象施設の有無（該当は「1」を記入）	保険加入年月	保険会社等の名称	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
整理番号	区分					国費 (円)	融資額 (円)	自己資金 (円)	都道府県費 (円)	市町村費 (円)	その他 (円)						
28	その他施設等	1	自動灌水システム一式	616,665		168,000	430,000	18,665							付加価値額の拡大については、新型コロナウイルス感染症の影響により流通が止まりミニトマトの価格が例年よりも下がり収入額が減ってしまったため目標を達成することができなかった。また、対策として前年よりミニトマトの価格が下落傾向であったため、新品種の導入、出荷先の変更、新規作物の導入に取り組んだが、収入は微増に留まり目標達成とはならなかった。		
				616,665	0	168,000	430,000	18,665									
				616,665		168,000	430,000	18,665									